Ⅵ. 一般講演 ポスター発表

P 会場（2 号館 2 階多目的ホール、1 号館 2 階（廊下））

化学系薬学：P-001～P-056

P-001　長鎖アルキル基を有するビタミン D 受容体リガンドの創製

○三澤隆史[1]、依岡桃子[1]、出水庸介[1]、大岡伸通[1]、木下恵愛[1]、槇島誠[2]、内藤幹彦[1]、
栗原正明[1,3]（[1]国立衛研、[2]日大医、[3]東工大院生命理工）

P-002　ジフェニルメタンを基本骨格としてエストロゲン受容体転写阻害剤および分解誘導財の開発

○依岡桃子[1,2]、三澤隆史[1]、出水庸介[1]、大岡伸通[1]、槇島誠[3]、南雲紳史[2]、内藤幹彦[1]、
栗原正明[1]、（[1]国立衛生、[2]工学院大院、[3]日大・医）

P-003　コンピュータシミュレーションによる合成カンナビノイドのCB1 受容体への結合様式解析

○出水庸介，三澤隆史，内山奈穂子，花尻瑠理，袴塚高志，栗原正明　（国立衛研）

P-004　アシルドーパミン合成法の最適化に関する研究

松本洋太郎[1]、溝越 怜[1]、○本谷小佑里[1]、伊藤昭博[2]、上杉志成[3]、橘高敦史[1]
（[1]帝京大・薬、[2]理研・環境資源科学、[3]京大物質-細胞統合システム拠点）

P-005　天然由来のα-glucosidase 阻害活性物質の探索に関する研究

○熊谷 侑紀[1]，黒田 明平[1]，三巻 祥浩[1]　（[1]東京薬大・薬）

P-006　マメ科*Trifolium pratense* 種子および*T. repens* 種子の化学成分と生物活性

○石井麻里奈，菅千紘，熊谷侑紀，泉澤彩美，黒田明平，三巻祥浩　（東京薬大・薬）

P-007　Phorbol の全合成研究

○橋本 賢[1]、松澤 彰信[1]、杉田 和幸[1]　（[1]星薬大・薬）

P-008　三環性ノルセスキテルペノイド paralemnolin A の合成研究

○ 井上 愛子[1]、阿部 秀樹[2]、佐々木 優一[1]、深沢 直樹[1]、小林 豊晴[1]、伊藤 久央[1]、
（[1]東京薬大・生命科学）

P-009　5*H*-Dibenz[*b*,*f*]azepine の*N*-アシル化によるコンホメーションの制御

金瀬 薫、嘉山 奨、○喜田 次郎、國吉 眞以、高橋 由佳、若松 真太朗、
田畑 英嗣、忍足 鉄太、夏苅 英昭、高橋 秀依　（帝京大・薬）

P-010　*N*-アルキルニコチン酸アミドと*m*-ハロピリジンとのカップリング反応による
3,5-置換型ピリジン含有アミドの合成と構造解析

○志村 佳恵[1]、張谷 香奈恵[1]、伊藤 愛[1]、山﨑 龍[1]、岡本 巌[1]（[1]昭和薬大）

P-011　Neodysiherbaine A の全合成研究

○柴田洸希、庭野陽平、汐崎正生、平井俊弘、伴慎太郎、橋本善光、森田延嘉、田村修
（昭和薬大）

P-012　エチルアルファネートの選択的ハロゲン化反応及びホフマン転位反応

○坂本洋平，川久保弘，佐藤誠，丹浩美，野本早紀，鈴木智子，朴俊錫，大山正義，
齋藤俊昭（日本薬科大学薬品創製化学分）

P-013　コバルト触媒を用いたオレフィンのヒドロアリール化反応

○阿野 卓哉[1]、本間 皓[1]、重久 浩樹[1]、廣谷 功[1]（武蔵野大・薬[1]）

P-014　海洋性天然物Trichodermatide A の構造改訂

○菊池 陽媛[1]、鈴木 毅史[1]、重久 浩樹[1]、廣谷 功[1]（[1]武蔵野大・薬）

P-015　コバルト触媒を用いたオレフィンの分子内ヒドロアルコキシル化反応と
ヒドロアシルオキシ化反応
○林 美希[1]、大川 陽菜[1]、重久 浩樹[1]、廣谷 功[1]　（[1]武蔵野大・薬）

P-016　ツバキ油がマウスの脂質代謝に及ぼす影響
○加藤 陽世、佐藤 忠章、小池 一男　（東邦大・薬）

P-017　ユーカリ精油とクスノキ精油がマウスの炎症性脳疲労に及ぼす影響
○宮崎 徹、佐藤 忠章、小池 一男　（東邦大・薬）

P-018　接触性皮膚炎モデルマウスに対する土壌の抗アレルギー作用
○坂井 百合恵[1]、八神 佳美[1]、日吉 美紗稀[1]、西村 鉄也[2]、佐藤 忠章[1]、小池 一男[1]
（[1]東邦大・薬、[2]東邦大・医）

P-019　(+)-α-サンタロールがマウスの情動に及ぼす影響と脳内移行性
○小川 優子、佐藤 忠章、小池 一男　（東邦大・薬）

P-020　超原子価ヨウ素化合物を用いるスピロオキシインドール環の合成
：アミド窒素上の置換基の影響
○佐藤 尚也[1]、林 浩輔[1]、見澤 翼[1]、島野 洋祐[1]、須田 岬[2]、玄 美燕[1]、高山 淳[1]、
寺前 裕之[2]、坂本 武史[1]（[1]城西大・薬、[2]城西大・理）

P-021　Tellimagrandin 誘導体の合成研究
○依藤藍子、内山武人、大嶋勇貴、宮入伸一　（日本大・薬）

P-022　有機分子触媒を用いた脱炭酸型不斉反応の開発
○池田 実加[1]、金光 卓也[1]、宮崎 倫子[1]、永田 和弘[1]、伊藤 喬[1]　（[1]昭和大・薬）

P-023　スピロクロマノンを経由するblennolide C の合成研究
○安達 栞菜[1]、長谷川 将[1]、片川 和明[1]、熊本 卓哉[1]　（[1] 武蔵野大・薬）

P-024　ジフェニルメタンを基本骨格とするエストロゲン受容アンタゴニストの創製
○田中克哉[1]，[2]、三澤隆史[2]、出水庸介[2]、諫田泰成[2]、槙島誠[3]、関野祐子[2]、内藤幹彦[1]
栗原正明[1]，[2]、（[1]東工大院生命理工、[2]国立衛生、[3]日大・医）

P-025　エステル生物学的等価体としてスルホキシドを有する新規 NNRTI アルケニルジアリールメタンの開発
○林 浩輔、新井 悠太、久津間 貴司、本屋敷 彬鼓、星 絢子、玄 美燕、高山 淳、坂本 武史
（城西大・薬）

P-026　グリシンをバックボーンに持つ新規ペプチド核酸の設計と合成
○松下 稜[1]、栗原 正幸[1]、福本 健人[1]、久松 洋介[1]、青木 伸[1]　（[1]東京理大・薬）

P-027　5 員環状アスコルビン酸類縁体のラジカル捕捉活性と酸化電位
○野村 昌吾[1]、稲見 圭子[1]、望月 正隆[1]　（[1]東京理大・薬）

P-028　新規フェルラ酸誘導体の MALDI マトリックスへの応用と評価
○加藤洋介[1]、福田護[1]、松田千代子[1]、玄美燕[1]、高山淳[1]、岡﨑真理[1]、坂本武史[1]、
広澤成美[2]、坂本安[2]　（[1]城西大薬、2 埼玉医科大）

P-029　ジヒドロピラン骨格を有する子嚢菌由来抗酸化物質の合成研究
○森 美彩、永田 和弘、野田 あおい、金光 卓也、宮崎 倫子、伊藤 喬　（昭和大・薬）

P-030　チランダマイシン類天然物の合成研究
○原田 麟太郎[1]、日下部 太一[1]、高橋 圭介[1]、畑山 範[2]、加藤 恵介[1]
（[1]東邦大・薬、[2]長崎大院・医歯薬）

P-031　鈴木－宮浦反応を基軸とした$C(sp_3)$-H 活性化反応の検討
○玉川 佳里奈[1]三浦 基文[1]、鳥山 正晴[1]、本橋 重康[1]　（[1]日本大・薬）

P-032　神経芽腫に対する burchellin 誘導体の細胞傷害活性
○栗田雅弘[1]、若林範子[1]、内山武人[1]、鈴木孝[1,2]　（[1]日大・薬、[2]日大・医）

P-033　β–Sulfinylenone に対する立体選択的遠隔アルキニル化の開発
○小林 大治郎[1]、三浦 基文[1]、中北 敏賀[1,2]、鳥山 正晴[1]、本橋 重康[1]
（[1]日本大・薬、[2]カンザス大）

P-034　天然物合成を指向した金触媒を利用するビシクロ[3.3.1]ケタール骨格の構築
森田延嘉、○村井貴大、佐藤きえ、伴慎太郎、橋本善光、田村修　（昭和薬大）

P-035　酸化的代謝モデル系によるカルボキシルアルキルニトロサミン類の変異原性発現とその作用機構解析
○渡辺 舞[1]、稲見 圭子[1]、望月 正隆[1]（[1]東京理科大・薬）

P-036　α-ハロカルボニル基を導入したクロスリンク剤の合成とDNA との反応機構の解析
○小暮 智紀[1]、稲見 圭子[1]、望月 正隆[1]（[1]東京理大・薬）

P-037　シンコナアルカロイド系有機分子触媒によるカルベン N－H 挿入反応を用いた生物活性物質の合成
齋藤弘明[1]，○佐々木春奈[1]，篠原秀幸[1]，田中湧大[1]，福薗幸男[1]，宮入伸一[1]
（[1]日本大・薬）

P-038　6-Chromanol 類の 8 位置換体の合成と抗酸化活性評価
○鈴木 真梨子[1]、稲見 圭子[1]、望月 正隆[1]　（[1]東京理大・薬）

P-039　Benzochroman 骨格をもつ新規抗酸化剤の合成と活性評価
○岡山 祐大[1]、稲見 圭子[1]、望月 正隆[1] ([1] 東京理大・薬)

P-040　オヤマノエンドウ(*Oxytropis myriophylla*) の脂肪蓄積抑制効果について
○大津 桂太[1]、野伏 康仁[1]、中島 理恵[1]、Tsogzolma Tamiraa[2]、Nyambayar Khalium[2]、Dorjsuren Narantungalag[2]、安川 憲[1]　（[1]日本大・薬、[2]国立モンゴル大・医）

P-041　Saussurea amara（L.）DC.のﾏｸﾛﾌｧｰｼﾞ活性化抑制成分の探索研究（4）
山中康平[1]、松井彩香[1]、○矢作忠弘[1]、吉田裕樹[2]、米山達朗[1]
古川めぐみ[1]、高松 智[3]、榊原 巌[2]、北中 進[1]、松﨑桂一[1]
（[1] 日本大・薬、[2] 国際医福大・薬、[3] 昭和大・薬）

P-042　光学活性スルホキシドを用いた不斉シグマトロピー環化反応の検討
○三浦 基文[1]、鈴木 汰祐[1]、小松原 愛加[1]、中北 敏賀[1,2]、鳥山 正晴[1]、本橋 重康[1]
（[1] 日本大・薬、[2]カンザス大）

P-043　キラル Zn^{2+} 錯体触媒によるヒドロキシアセントとジヒドロキシアセント誘導体の不斉アルドール反応
○安田真人[1]、菊地千陽[1]、青木伸[1]、（[1]東京理大・薬）

P-044　*N*-ニトロソジアルキルアミンの活性化におけるニトロソ基移動反応の関与
○沼尻 隼弥[1], 稲見 圭子[1], 望月 正隆[1] （[1]東京理大・薬）

P-045　2 位置換基上にアゾールアルキル基を有する 19-ノルビタミン D3 の合成
○茂田 佳奈子、矢野 弘樹、雨宮 綾子、樋口 恵理香、高野 真史、橘高 敦史
（帝京大・薬）

P-046　ビス(ハロメチル)基を導入したphenanthroline 類のDNA クロスリンク-インターカレート活性
○山田大樹[1]、稲見圭子[1]、望月正隆[1] （[1]東京理大・薬）

P-047　ハロメチル基を導入したアクリジン誘導体のDNA クロスリンク・インターカレート剤の合成と活性評価
○原田 和也[1]、稲見 圭子[1]、望月 正隆[1] （[1]東京理大・薬）

P-048　梅エキスを先導化合物とした抗インフルエンザ薬の構造活性相関研究
○加藤 裕也[1], 横田 智洋[2], Nongluk Sriwilaijaroen[3], 横江 弘雅[4],
鈴木 康夫[5], 常盤 広明[1,6], 津吹 政可[4] （[1]立教大理, [2]星薬大薬, [3]Thammasat Univ., [4]星薬大医薬研, [5]中部大生命健康科学, [6]立教大未来分子研究セ)

P-049　FMO 法およびMD シミュレーションを用いた抗ヒトパラインフィルエンザ化合物に関する理論的解析
○松尾直也[1]、岡崎誠司[1,2]、池田潔[3]、高橋忠伸[4]、鈴木隆[4]、Mark von Itzstein[5]、常盤広明[1,2]
（[1] 立教大理、[2] 立教大未来分子研究セ、[3] 広島国際大薬、[4] 静岡県大薬、[5]Griffith Univ. ）

P-050　アダマンチル基と2 つの三重結合を有するビタミンD 誘導体に関する理論的研究
○熊谷茜[1]、岡崎誠司[1,2]、渡會友祐[1]、槇島誠[3]、山田幸子[3]、常盤広明[1,2]
（[1] 立教大理、[2] 立教大未来分子研究セ、[3] 日大医）

P-051　RXR パーシャルアゴニストに関する理論的研究
○夏目継介[1]、岡崎誠司[1,2]、中野祥吾[3]、伊藤創平[3]、加来田博貴[4]、常盤広明[1,2]
（[1] 立教大理、[2] 立教大未来分子研究セ、[3] 静岡県大食品栄養、[4] 岡山大大学院医歯薬総合）

P-052　PPARα スーパーアゴニストに関する理論的研究
○亀井貴司[1]、岡崎誠司[1,2]、石坪江梨花[1]、島野仁[3]、常盤広明[1,2]
（[1] 立教大理、[2] 立教大未来分子研究セ、[3] 筑波大医）

P-053　脂肪酸複合体のβ 受容体に対するシナジー効果に関する理論的研究
○杉山俊樹[1]、岡崎誠司[1,2]、渡邊泰雄[3]、山田静雄[4]、常盤広明[1,2]
（[1] 立教大理、[2] 立教大未来分子研究セ、[3] 横浜薬大、[4] 静岡県大薬食研究セ）

P-054　PyMOL プラグインを用いた糖鎖-レクチンデータベースの効率的活用法
○立原勇武[1]、中野祥吾[2]、岡崎誠司[1,3]、伊藤創平[2]、常盤広明[1,3]
（[1] 立教大理、[2] 静岡県大食品、[3] 立教大未来分子研究セ）

P-055　抗炎症フラボノイドの合成と構造活性相関
○蒋 文君、高宮 智子、北中 進、飯島 洋　（日本大薬）

P-056　カテコール O-メチル転移酵素賦活化物質の構造活性相関
○渡邉凌、鈴木光一、高橋慶伍、岩田新平、佐藤彩、姫野魁人、林誠也、板倉利典、
歌川将之、栗城知葉、佐藤知幸、髙宮知子、齋藤弘明、宮入伸一、飯島洋
（日本大薬）

物理系薬学：P-057～P-086

P-057　男性不妊患者精漿中の金属およびアミノ酸の解析：加齢の影響
○片山 昌勅[1]、月村 孝宏[1]、高松 潔[2]、兼子 智[2]、兎川 忠靖[1]
（[1]明治薬科大・薬、[2]東京歯科大市川総合病院）

P-058　Alzheimer 病関連アミロイドβ（Aβ1-42）線維凝集体形成の経時的変化について
小林茂樹、○関根稜弥、知久馬敏幸　（昭和薬大薬）

P-059　S-Methyl-L-cysteine（SMLC）とD-セリン併用投与によるラット線条体SMLC 及び
D-セリンの変動解析
○小野里 磨優、石丸 勝之、永嶋 千紘、福本 実理、飯塚 英昭、
一場 秀章、福島 健　（東邦大・薬）

P-060　LC-MS/MS による(R)-DBD-PyNCS－トリプトファンおよびキヌレニン誘導体の定量
○飯塚 英昭[1]、桒原 亮介[1]、高橋 周平[1]、坂本 達弥[1]、
小野里 磨優[1]、一場 秀章[1]、福島 健[1]　（[1]東邦大・薬）

P-061　コアシェルタイプのイオン交換樹脂の開発とそれを用いたＵＨＰＬＣへの応用（第１８報）
根岸 由紀子[1]、○三友 俊一[1]、村上 仁美[1]、伊藤 久昭[2]、
（[1]女子栄養大学、[2]城西大・薬）

P-062　サイズ排除クロマトグラフィーによる多量体アディポネクチンの分別定量
○朝本紘充[1]、野伏康仁[2]、南澤宏明[1]、安川憲[2]　（[1]日大・生産工、[2]日大・薬）

P-063　高脂肪酸食を負荷したマウスの血中遊離脂肪酸の分離定量
○津崎 茜[1]、小谷 明[1]、山本法央[1]、小川寛恭[2]、
秋山治彦[2]、袴田秀樹[1]　（[1]東京薬大・薬、２岐阜大・医 整形外科）

P-064　ピコリン酸エステル化した酸化ステロールのタンデム質量分析
○松本萌起、羽木順也、山本法央、小谷　明、袴田秀樹　（東京薬大・薬）

P-065　エメラルド緑色蛍光タンパク質の化学修飾
渡部仁美、○大石青希、山本法央、小谷　明、袴田秀樹　（東京薬大・薬）

P-066　エルゴステロールのカラム型フロー電解
○薦田裕昌、淺見達彦、山本法央、小谷　明、袴田秀樹　（東京薬大・薬）

P-067　LC-IT-TOF-MS による経腸栄養剤中脂質の検出
○石田萌実、花光真里奈、山本法央、小谷　明、袴田秀樹　（東京薬大・薬）

P-068　電気化学検出超臨界流体クロマトグラフィーシステムの構築のためのノイズのスペクトル解析
○植木達也、樋口尚之、高橋浩司、山本法央、小谷　明、袴田秀樹　（東京薬大・薬）

P-069　ポリフェノール添加キシログルカンハイドロゲルの調製と評価
○沢幡 聖治[1]、笹津 備尚[1]、増田篤之[1]、池内 由里[1]、大西 啓[1]　（[1]星薬科大学）

P-070　アンレキサノクスーオイドラギット®E100 の固体分散体の調製と評価
○安江 毅、弓削 澄夏、河野 弥生、花輪 剛久　（東京理科大・薬）
P-071　多孔性ケイ酸カルシウムの難水溶性薬物の吸着担体への応用
○陳 詩陽、河野 弥生、花輪 剛久　（東京理科大・薬）
P-072　カフェイン - クエン酸共結晶の新規結晶多形
○渡邉 有加[1]、向田 睦[2]、伊藤 雅隆[1]、菅野 清彦[1]、寺田 勝英[1]
（[1]東邦大・薬、[2]旭化成ファーマ）
P-073　EUDRAGIT RSPO における熱緩和及び磁気緩和の挙動
○石亀 志帆[1]、伊藤 雅隆[1]、吉橋 泰夫[1]、菅野 清彦[1]、寺田 勝英[1]　（[1]東邦大・薬）
P-074　溶出試験におけるコーニング現象の解明
○樋口 水紀[1]、伊藤 雅隆[1]、菅野 清彦[1]、寺田 勝英[1]　（[1]東邦大・薬）
P-075　人工腸液に対する単結晶面の濡れ性評価
○冨士本 昂二[1]、伊藤 雅隆[1]、菅野 清彦[1]、寺田 勝英[1]　（[1]東邦大・薬）
P-076　滑沢剤の混合状態：高分解能ラマンマッピングによる視覚化
○川村 紗香[1]、伊藤 雅隆[1]、吉橋 泰生[1]、菅野 清彦[1]、寺田 勝英[1]　（[1]東邦大・薬）
P-077　無水/水和物系Phase Boundaries の簡便かつ精密な測定法の確立
○諸坂みゆき[1]、伊藤雅隆[1]、菅野清彦[1]、寺田勝英[1]　（[1]東邦大・薬）
P-078　凍結乾燥過程の*Myo*-Inositol 結晶化とDextran の共存による抑制
○草野里歩[1]、伊豆津健一[2]、伊藤雅隆[1]、吉橋泰生[1]、菅野清彦[1]、寺田勝英[1]、
（[1]東邦大・薬、[2]国立医薬品食品衛生研）
P-079　NMR による新規機能性食品添加剤 a-glucosyl hesperidin 及び a-glucosylrutin の構造決定
○青木 千咲、竹内 喜大、植田 圭祐、東 顕二郎、森部 久仁一　（千葉大院・薬）
P-080　レボフロキサシン結晶多形の構造解析と相転移現象の解明
○笹子翔大[1]、斎藤菜穂子[1]、迫田涼子[1]、長瀬弘昌[1]、寺岡麗子[2]、湯谷玲子[2]、都出千里[2]、
北河修治[2]、古石誉之[1]、郡司美穂子[1]、遠藤朋宏[1]、米持悦生[1]　（[1]星薬大、[2]神戸薬大）
P-081　エパルレスタット結晶多形の構造解析
○朱田仁聖、田丸穂菜美、竹内洸輔、長瀬弘昌、古石誉之、
郡司美穂子、遠藤朋宏、米持悦生　（星薬大）
P-082　イオン液体を利用した経皮吸収促進法とその製剤設計
○中村健悟、長沢雄太郎、島村順平、浅野美咲季、香野隼汰、長瀬弘昌、古石誉之、
郡司美穂子、遠藤朋宏、米持悦生　（星薬大）
P-083　エパルレスタットの共結晶化と物理化学的特性の評価
○大畑慧、浜口慧太朗、長瀬弘昌、古石誉之、郡司美穂子、遠藤朋宏、米持悦生　（星薬大）
P-084　計算化学を用いた Cyclomaltononaose（δ-CD）とコール酸類縁化合物との相互作用の解析
福地理沙、○田嶋沙也佳、小高玄渡、柴崎賢司、塚本真依、矢賀裕介、郡司美穂子、遠藤朋宏、
古石誉之、長瀬弘昌、米持悦生　（星薬大）
P-085　医薬品 Cocrystal の探索スクリーニングにおける携帯型ラマン分光計の応用
○鈴木郁也[1]，高橋春秋[1]，久田浩史[1]，井上元基[1]，深水啓朗[1]（[1]明治薬大学薬学部）

P-086　インドメタシンとリドカインの共融混合物が形成する水溶液の挙動について
○片原裕太、島田洋輔、後藤了　（東京理大・薬）

生物系薬学：P-087～P-132＆P-184

P-087　ステロイド治療抵抗性とhistone deacetylase 2, およびsirtuin 1 の関連
○西本裕樹[1,2], 木村元気[1], 上田敬太郎[1], 中沖貴宏[1], 草間貞[1], 木澤靖夫[1]
（[1] 日本大・薬, [2] シミック PMS 株式会社）

P-088　防己黄耆湯およびシノメニンの抗侵害刺激作用に関する研究
○新藤 祐久[1]、水島 彩佳[1]、窪田 篤人[1]、伏谷 眞二[1]、
櫻田 誓[1]、高野 文英[1]（[1] 日薬大・薬）

P-089　ヒト乳癌ALDH$_{high}$ 細胞 に対するMET 阻害剤の効果
○稲田将大[1]、片山鈴花[1]、中根裕美[1]、田村 渓[1]、松村 将史[1]、高澤涼子[2]、
原泰志[3]、安部良[3]、吉森篤史[4]、四ノ宮成祥[5]、田沼靖一[1,2]、秋本 和憲[1]
(東京理科大・[1] 薬, [2] ゲノム創薬研セ, [3] 生命医科学研, [4]（株)理論創薬研,[5] 防衛医科大)

P-090　ヒト乳癌における Atypical protein kinase C (aPKC)・/・と糖代謝機構との関連
○本村瞳[1]、片山鈴花[1]、多森翔馬[1]、松村将史[1]、柳川拓哉[1]、和氣由布子[1]、高澤涼子[2]、
田沼靖一[1, 2]、宮城洋平[4]、長嶋洋治[3]、秋本和憲[1, 5]（[1] 東京理科大・薬、[2] ゲノム創薬研セ、
[3] 東京女子医大病院、[4] 神奈川県立がんセ、[5]TR センター）

P-091　Stress granule の形成と解除におけるYB-1 の役割
○都築 竜太[1]、田中 融[1]、大橋 祥世[1]、小林 俊亮[1]　（[1] 日本大・薬）

P-092　日米EU 三局の薬物相互作用ガイドラインの概要まとめと比較
○山田 浩行[1]、荒川 大[1]、楠元 久美子[2]、小島 肇[3]、荻原 琢男[1]
（[1] 高崎健康福祉大・薬、[2] 大阪市大・医、[3] 国立医薬品食品衛生研究所）

P-093　短期絶食によるマウス全身性応答１（臓器別遺伝子発現変化）
○鎌田祥太郎、山本隼也、三浦あす美、長田知子、海沼亮、石井功　（慶應大・薬）

P-094　短期絶食によるマウス全身性応答２（臓器別タンパク質発現変化）
○大谷遥香、山本隼也、戸坂優花、鎌田祥太郎、石井功　（慶應大・薬）

P-095　リン酸化プロテオミクスを用いた乳癌ALDH1$_{high}$ 細胞におけるAtypical
Protein Kinase C(aPKC)の機能解析
○片山鈴花[1]、中根裕美[1]、稲田将大[1]、小野寺佑佳[1]、神保美穂[4]、原泰志[2]、安部良[2]、
田沼靖一[1, 3]、川上隆雄[4]、秋本和憲[1]（[1] 東京理科大学薬学部、[2] 生命科学研究所、
[3] ゲノム創薬研セ、[4](株)メディカルプロテオスコープ）

P-096　食餌誘導性高ホモシステイン血症感受性マウスの解析
○戸坂優花、大谷遥香、三浦あす美、長田知子、鎌田祥太郎、石井功　（慶應大・薬）

P-097　タバコ主流煙及びdsRNA 誘発気道炎症におけるPI3K 阻害薬のステロイド治療
抵抗性改善効果
○木村元気[1], 羽田竜馬[1], 加藤 萌[1], 飯田有貴[1], 上田敬太郎[1],中沖貴宏[1], 西本裕樹[2],
益子 崇[1], 草間 貞[1], 木澤靖夫[1]（[1] 日本大・薬, [2] シミックPMS 株式会社）

P-098　プラセンタエキスに含まれる細胞増殖シグナルの解析
○伊藤 航平[1]、今村 亨[1]、（[1]東京工科大・応用生物）

P-099　Atypical protein kinase C(aPKC)依存的な乳癌ALDH$_{high}$ 細胞の生存メカニズムの解析
○野崎優香[1]、稲田将大[1]、片山鈴花[1]、中根裕美[1]、二俣沙央里[1]、小野寺佑佳[1]、原泰志[2]、安部良[2]、田沼靖一[1,3]、秋本和憲[1,4]
（[1]東理大・薬、[2]生命科学研究所、[3]ゲノム創薬センター、[4]TR センター）

P-100　レスベラトロールによるヒト*E2F4* 遺伝子発現調節メカニズムの解析
○村山枝里紗、小路昂一郎、内海文彰　（東理大・薬・遺伝子制御学）

P-101　毒素産生量を指標にしたazithromycin による緑膿菌情報伝達系阻害機序の検討
○小濱弥眞斗、市丸嘉、齋藤弘明、宮入伸一　(日本大・薬)

P-102　Epox/Indirubin の細胞傷害性：Indirubin からepoxide 環までのspacer 長の検討
市丸 嘉、○藤井 矯、金子未奈、齋藤弘明、宮入伸一　（日本大・薬）

P-103　無核細胞検出系を用いた DNA ジャイレース阻害剤の探索
○鈴木 更、小久保佳苗、小金井彩花、山岸純一　（日本薬科大学 薬学部薬学科）

P-104　薬学生より分離したブドウ球菌属のキノロン系薬剤を中心とした薬剤感受性とキノロン耐性機構
○三輪輝夏、鈴木 更、栗原ちなみ、新井咲紀、横田あずさ、高橋栄造、山本博之、斉藤 博、山岸純一　（日本薬科大学 薬学部薬学科）

P-105　Werner interacting protein1(WRNIP1) と PrimPol の相互作用の解析
○追川 瑞穂、吉村 明、榎本 武美　（武蔵野大・薬）

P-106　酸化ストレス障害に対するフェルラ酸誘導体の細胞保護作用メカニズムの解析
○玄美燕、地寄一葉、林浩輔、髙山淳、坂本武史、松﨑広和、岡﨑真理　（城西大・薬）

P-107　Epox/Indirubin の細胞傷害性：最適ハロゲン原子種の検討
市丸 嘉、○小藤光章、藤井 矯、木暮隆人、梅原美乃、齋藤弘明、内山武人、宮入伸一
（日本大・薬）

P-108　全身性炎症反応に対するP2 受容体阻害薬の効果の検討
○二宮 有希[1]、田沼 靖一[1]、月本 光俊[1]　（[1]東京理科大・薬）

P-109　抗がん剤によるCRT の細胞膜への移行とアポトーシスに関する解析
○笹沼拓也、鈴木賢一、東祐太郎、多田周右　（東邦大・薬）

P-110　抗がん剤による小胞体タンパク質CRT の細胞膜への移行
○佐藤達人、鈴木賢一、東祐太郎、多田周右　（東邦大・薬）

P-111　高濃度グルコース培養による*bcl2* を介したアポトーシスの亢進と*ICER* の関与
○大岩靖、君塚舜、東祐太郎、多田周右　（東邦大・薬）

P-112　アポトーシスを誘発したがん細胞株の貪食解析法の検討
○高石慶吾[1]、木内章人[2]、東祐太郎[1]、小林芳郎[2]、多田周右[1]
（[1]東邦大・薬、[2]東邦大・理）

P-113　細胞内タンパクの*O*-GlcNAc 修飾によるアポトーシスの亢進とその機構の解析
○秋谷美江、桜井美杏、東祐太郎、多田周右　（東邦大・薬）

P-114　抗がん剤により細胞表面CRT が増加した細胞に対するTSP1 結合の解析
○道工怜子、東祐太郎、多田周右　（東邦大・薬）

P-115　レスベラトロールのヒトインターフェロン応答性遺伝子プロモーターに対する効果
○篠崎 明日香、内海 文彰　（東理大・薬・遺伝子制御学）

P-116　中枢神経系における脳型 Na^+/HCO_3^-共輸送体の機能解明にむけて
○遠山卓、長谷川尚美、森滉貴、佐藤沙弥香、白鳥瞳、竹中遥菜、濱田浩一、水谷顕洋
（昭和薬科大学・薬物治療学）

P-117　IRBIT のミトコンドリアの恒常性維持における機能について
○是永理那、土居孝平、加藤大、大島由規、梶山千英、川添綾華、濵田浩一、水谷顕洋
（昭和薬科大学・薬物治療学）

P-118　大腸菌c-di-GMP 合成酵素YegE 及びその変異体発現株の運動性及びバイオフィルム形成
山地紳太郎、鮫島憲、安藤友美、永野智也、小林あやの、
○北村昭夫、平田隆弘　（城西国際大・薬）

P-119　遺伝子組換え型可溶性 Neonatal Fc Receptor（FcRn）の発現
○西尾 美帆[1]、津村 裕太[1]、志賀 有貴[1]、平野 裕太[1]、佐藤 淳[1]
（[1]東京工科大学大学院 バイオ情報メディア研究科）

P-120　HL-60 細胞分化に伴った*ZNFX1* 遺伝子プロモーター活性変動の解析
○山村 麻由、大井 熙人、内海 文彰　（東理大・薬・遺伝子制御学）

P-121　顆粒球コロニー刺激因子受容体に結合するペプチド配列の活性評価
○木村 麻衣[1]、野木 大樹[1]、村山 隆則[1]、今野 瞬[1]、黒木 良太[2]、佐藤 淳[1]
（[1]東京工科大大学院 バイオ・情報メディア研究科、[2](独)日本原子力研究開発機構）

P-122　大腸菌で封入体として発現した IgG Fc 融合タンパク質の巻き戻し法
○石川 翔[1]、小口 潤[1]、佐藤 淳[1]
（[1]東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科）

P-123　Y9A2 抗体に認識されるミモトープの作製と活性検討
○池上 諒[1]、村井 竜一[1]、佐藤 淳[1]
（[1]東京工科大学大学院・バイオ・情報メディア研究科）

P-124　Bromodomain-containing protein 4 阻害剤の耐性形質の解析
○石塚周平、野口耕司、片山和浩、杉本芳一　（慶應大・薬・化学療法）

P-125　上皮細胞のCoxsackievirus and Adenovirus Receptor (CAR) を標的としたタンパク
送達システムの検討
○大久保 莉菜[1]、小泉 直也[1]、畠山 紗也[1]、藤井 まき子[2]、角田 慎一[3]、渡辺 善照[1]
（[1]昭和薬大、[2]日本大・薬、[3]医薬基盤・健康・栄養研究所）

P-126　顆粒球コロニー刺激因子受容体結合 RNA アプタマーのスクリーニング
○石川郁弥[1]、内山美沙希[1]、小林夏希[1]、吉田亘[1]、佐藤淳[1]、
（[1]東京工科大学大学院バイオ情報メディア研究科）

P-127　褐色脂肪組織の脂肪酸酸化に及ぼす高脂肪食負荷の影響
～短期負荷と長期負荷の比較～
○宮下涼太、大友隆之、中森彩奈、稲葉二朗、山田純司（東京薬大・薬）

P-128　長鎖アシル CoA 合成酵素４の生体内機能の解析-１
○水沼 孝裕、伊藤 早紀、森 雅美、矢澤 将太、桑田 浩、原 俊太郎　（昭和大薬）

P-129　長鎖アシル CoA 合成酵素 4 の生体内機能解析-2
○伊藤早紀、水沼孝裕、矢澤将太、森雅美、桑田浩、原俊太郎　（昭和大薬）

P-130　スフィアアッセイを用いたマウス乳腺幹細胞の解析
○高柳亜由美[1,2]、佐々木和教[2]、秋本和憲[1]、大野茂男[2]
（[1] 東京理科大・薬、[2] 横浜市大・医）

P-131　新規放射線増感剤としての P2X7 受容体阻害薬の効果の検討
○棚町圭祐[1]、鈴木利宙[2]、田沼靖一[1]、安部良[2]、月本光俊[1]
（[1]東京理大・薬 [2]東京理大・生命研）

P-132　ラット腸のリン脂質代謝に対する食餌製紙ボン酸とクロフィブリン酸の影響
○西宮 裕子[1]、川嶋 洋一[1]、工藤 なをみ[1]　（[1]城西大・薬）

環境・衛生系薬学：P-133 & P-134

P-133　環境試験法　水質試験法　塩化物イオン
○加瀬 年生[1]　（[1]加瀬化学検査室）

P-134　肝 Cytochrome P450(CYP)によるジメチルヒ素の毒性軽減
○下田 康代[1]、黒澤 英俊[1, 2]、加藤 孝一[1]、山中 健三[1]　（[1]日本大薬、[2]警視庁科捜研）

薬理系薬学：P-135～P-150

P-135　オキセサゼイン-γ シクロデキストリン包接化合物のマウス摘出回腸に対する収縮抑制作用に関する研究
○金井 里紗[1]、鈴木 健吾[2]、恵沢 敏成[2]、茂木 肇[1]、木村 光利[1]、井上裕[2]、金本 郁男[2]、荻原 政彦[1]　（城西大・薬）

P-136　マーモセット肝のワルファリン代謝の解析
○河野未来[1]、上原正太郎[1]、宇野泰広[2]、鵜藤雅裕[2]、佐々木えりか[3]、山崎浩史[1]
（[1]昭和薬大、[2]新日本科学、[3]実中研）

P-137　マーモセット肝のカフェイン代謝経路の解析
○鈴木貴子[1]、上原正太郎[1]、宇野泰広[2]、佐々木えりか[3]、山崎浩史[1]
（[1]昭和薬大、[2]新日本科学、[3]実中研）

P-138　Glucagon-like peptide-2 の抗うつ様作用への NO 産生抑制の関与
○中村 友哉[1]、濱田 幸恵[1]、恒岡 弥生[1]、岡 淳一郎[1]　（[1]東理大・薬）

P-139　Angiotensin II の慢性投与がCAVI に与える影響
○松田 凌地、千葉 達夫、森下 武則、相本 恵美、高原 章　（東邦大・薬）

P-140　薬物性QT 間隔延長の検出感度は麻酔薬の選択により異なる
○酒井 香、栗本 留衣、相本 恵美、高原 章　（東邦大・薬）

P-141　Nicorandil が動脈stiffness に及ぼす影響 ～CAVI を用いた評価～
○森下 武則、千葉 達夫、松田 凌地、相本 恵美、高原 章　（東邦大・薬）

P-142　マウスにおける MPTP 投与が協調運動に及ぼす影響
○吉田 佳織[1]、藤井 雅人[1]、石毛 久美子[1]、小菅 康弘[1]、伊藤 芳久[1]　（[1]日本大・薬）

P-143　ラット大動脈標本のβ-アドレナリン受容体（β-ADR）を介した弛緩反応に及ぼす
NO-cGMP 経路阻害薬の影響
○椎名俊介、宇井梨花子、遠藤知花、小原圭将、茅野大介、田中芳夫　（東邦大・薬）

P-144　自然発症高血圧ラット及びアンジオテンシンⅡ持続投与ラットでのドコサヘキサエン酸（DHA）
の静脈内投与による降圧効果
○初山普海[1]、茅野大介[1]、小原圭将[1]、田中芳夫[1]　（[1]東邦大・薬）

P-145　エイコサペンタエン酸（EPA）とリノール酸（LA）の静脈内投与が
血管収縮薬持続投与高血圧ラットの血圧に及ぼす影響
○鈴木友紀子[1]、湯田紗月[1]、茅野大介[1]、小原圭将[1]、田中芳夫[1]　（[1]東邦大・薬）

P-146　抗うつ薬による尿排出機能障害の評価
－副交感神経伝達物質による排尿筋の収縮反応に及ぼす影響－
○鈴木寛子[1]、宮谷理美[1]、小原圭将[1]、宇野準二[1, 2]、茅野大介[1]、田中芳夫[1]
（[1]東邦大・薬、[2]桶狭間病院）

P-147　新規心房細動モデルラットにおける dexamethasone の抗心房細動作用
○椰野 健、相本 恵美、高原 章　（東邦大・薬）

P-148　アレルギー治療薬の抗コリン作用に関する比較研究
鈴木重人、○大槻彩夏、青田貴文、麻生花、荒井祐哉、小野景義、木内茂樹、上園崇、
栗原順一　（帝京大薬）

P-149　モルモット Endothelin 1 遺伝子の塩基配列の決定
○ 橋本周也、木内茂樹、髙橋侑里、上園崇、栗原順一、鈴木重人、小野景義（帝京大薬）

P-150　モルモット Adrenomedullin 遺伝子の塩基配列の決定
○ 渡辺詠治、木内茂樹、山田彩加、上園崇、栗原順一、鈴木重人、小野景義（帝京大薬）

医療系薬学：P-151～P-183

P-151　ビグアナイド系糖尿病治療薬メトホルミンの抗がん作用機序に関する検討
○石井恵[1]、浅葉みず穂[1]、鈴木啓司[2]、山下俊一[2]、濵本知之[1]
（[1]昭和薬科大学、[2]長崎大学・原研・放射線災害医療）

P-152　多機能性高分子ミセルを用いた抗 NF-κB siRNA 静脈投与後のマウスメラノーマ転移抑制効果
○間渕 萌、金沢 貴憲、大和田 みなみ、岩谷 景子、茨木 ひさ子、高島 由季、瀬田 康生
（東京薬大・薬）

P-153　アプレピタントによる補助療法ががん化学療法の治療経過に与える影響
○羽田有里[1]、青森達[1]、坡下真大[2･4]、荒木拓也[2･3]、山本康次郎[2･3]、鈴木小夜[1]、
地引綾[1]、中村智徳[1]、（[1] 慶應大・薬・医療薬学 [2]群馬大院・医・臨床薬理
[3] 群馬大病院・薬剤部 [4] 群馬大院・医・医学教育セ）

P-154　腫瘍血管内皮細胞に対する特異抗体の創出と特性評価
○宮口 聖総[1]、野村 鉄也[1]、野村 香織[1]、平田 圭一[1]、宇都口 直樹[1]
（[1]帝京大・薬）

P-155　チオール交換反応を用いた高ホモシステイン血症新規治療薬の検討
○小野原 毅[1]、黒木 彩加[2]、廣田 孝司[1, 2]　（[1]東京理大・薬、[2]東京理大院・薬）

P-156　CYP3A4 遺伝的 variant に対する競合阻害剤の阻害特性の体系的比較
○綾 華奈子[1]、秋好健志[1]、今岡鮎子[1]、日比野英幸[1]、荒木拓也[2]、宮崎光江[2]、
F.P.Guengerich[3]、中村克徳[4]、中村智徳[1]、山本康次郎[2]、大谷壽一[1]
（[1]慶應大薬、[2]群馬大医、[3]Department of Biochemistry and Center in Molecular Toxicology, Vanderbilt University School of Medicine、[4]名市大院薬）

P-157　キサンチンオキシダーゼ阻害作用を持つ既存薬のラットL-アルギニン急性膵炎モデルに対する効果
真板 桜子[1]、○綾部 秀範[1]、小林 茂樹[1]、福嶋 敬宜[2]、濵本 知之[1]
（[1] 昭和薬科大、[2] 自治医科大）

P-158　Dexamethasone(Dex)誘発肺気腫モデルマウスにおけるall-*trans*-retinoic acid(ATRA)の肺胞回復効果の検討
○上野 美咲[1]、廣岡 志穂美[2]、廣田 孝司[1,2]　（[1]東理大・薬、[2]東理大院・薬）

P-159　抗NF-κB siRNA/多機能性高分子ミセル複合体静脈投与による潰瘍性大腸炎治療効果
○佐々木 大哉、金沢 貴憲、畠山 成寛、竹田 晃宙、瀧田 修一、茨木 ひさ子、高島 由季、瀬田 康生　（東京薬大・薬）

P-160　慢性炎症疾患モデルマウスを用いた種々のリポソーム静脈投与後の炎症部位集積性
○中田 叡、金沢 貴憲、竹田 晃宙、畠山 成寛、白石 俊介、茨木 ひさ子、高島 由季、瀬田 康生　（東京薬大・薬）

P-161　シクロスポリン封入細胞透過性高分子ミセルの調製と経鼻投与後の虚血再灌流障害治療効果
○樋口 舞人[1]、金沢 貴憲[1]、新出 隆樹[1]、金成 将英[1]、高島 由季[1]、鈴木 豊史[2]、伴野 和夫[2]、瀬田 康生[1]（[1] 東京薬大・薬、[2] 日大・薬）

P-162　COX 阻害活性評価方法の確立およびそれを用いた NSAIDs の COX 阻害活性評価
○林 由梨果[1]、青森 達[1]、鈴木 小夜[1]、地引 綾[1]、中村 智徳[1]
（[1]慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門）

P-163　薬局におけるメトトレキサートを例にした重篤な副作用の情報提供に対する患者の意識に関する調査研究
○遠藤 栞[1]、茂木 肇[1]、木村 光利[1]、田中 真奈美[2]、小松 由美子[2]、大山 邦之[2]、荻原 政彦[1]、
（[1] 城西大・薬、[2](株)ヘルスアップ）

P-164　高血圧治療ガイドライン改訂による処方への影響と医師の意識変化
○寿楽 皐[1]、佐竹 尚子[1]、大久保 正人[1]、安野 伸浩[2]、関根 祐子[1]
（[1]千葉大・薬、[2]社会医療法人財団 新都市医療研究会 関越病院）

P-165　薬局データを用いたインフルエンザA 型・B 型の感染パターンの解析
～2012 および2013 シーズン～
○西田志穂[1]、福岡勝志[1]、齋藤充生[2,3]、林譲[2,3]、矢島毅彦[3]
（[1] 日本調剤株式会社、[2] 帝京平成大学・薬、[3] ヘルスヴィジランス研究会）

P-166　我が国におけるバイオ後続品の臨床試験成績の取り扱いに関する検討
○齋藤 充生 1、後藤 智子 1、小野 まり絵[2]、大室 弘美[2]
（[1]帝京平成大・薬、[2]武蔵野大・薬）

P-167　高血圧症患者を対象とした高血圧治療薬の使用実態と治療実績の変遷に関する研究
○荒川基記[1]、杉原絢[1]、安野伸浩[2]、田中政彦[2]、呉兆礼[3, 4]、朝比奈完[3, 5]、日髙慎二[1]
（[1]日本大・薬、[2]関越病院、[3] 中野サンブライトクリニック、[4] くれクリニック、
[5] 睦町クリニック）

P-168　一般用漢方製剤の添付文書の記載内容に関する調査研究
○松島悠希[1]、湯田康勝[1]、齋藤充生[2]、大室弘美[2]　（[1]武蔵野大・薬、[2]帝京平成大・薬）

P-169　マウス脳灌流法を用いた血液脳関門におけるニコチンの取り込み輸送機構の解析
○羽田敬宏[1]，内田茉梨子[1]，鈴木豊史[1]，鈴木直人[1]，深水啓朗[2]，伴野和夫[1]
（[1]日本大・薬，[2] 明治薬大）

P-170　カクテルマイクロダイアリシス法による薬物の脳移行性評価
○黒澤俊樹、東 昂翔、山﨑有里奈、宮川 諒、北村 敦樋口 慧、黄倉 崇、出口芳春
（帝京大・薬）

P-171　タクロリムス皮膚適用後の全身移行性に及ぼす皮膚状態の変化と血管収縮薬の影響
○前川 俊久、間 祐太朗、三木 涼太郎、大島 新司、江川 祐哉、関 俊暢（城西大・薬）

P-172　レスベラトロール誘導体によるメラニン産生抑制とチロシナーゼ阻害活性
○髙松健人[1]，鈴木豊史[1]，坂本光咲[1]，中村知子[1]，三浦基文[1]，鈴木直人[1]，本橋重康[1]，
深水啓朗[2]，伴野和夫[1]　（[1]日本大・薬，[2]明治薬大）

P-173　フェルビナク含有テープ製剤の結晶状態に関する研究
○飯田康人[1]、久田浩史[1]、井上元基[1]、小出達夫[2]、深水啓朗[1]　（[1]明治薬大、[2] 国立衛研）

P-174　ケトプロフェン含有テープ製剤の皮膚透過性と使用期限の影響
○唐 彩華[1]，満元愛彩美[1]，鈴木豊史[1]，大橋由紀[1]，鈴木直人[1]，山本佳久[2]，深水啓朗[3]，
伴野和夫[1]（[1] 日本大・薬，[2]帝京平成大・薬，[3] 明治薬大）

P-175　メイラード反応系の色差測定と展望３
○鳥谷 寧[1],栗林 和美[2],高畠 亨[3]
（[1] ウエルシア薬局株式会社, [2] 帝京平成大薬,[3] 日本大薬）

P-176　ラマン分光法による錠剤中主薬の定量に関する研究
○岡留悠祐[1]，島村りえ[1]，鈴木郁也[1]，小出達夫[2]，久田浩史[1]，井上元基[1]，深水啓朗[1]
（[1]明治薬大、[2]国立衛研）

P-177　NIR を用いた腸溶性コーティング錠の膜厚予測汎用モデル作成に向けた検討
〇土田実央[1]、有安葵[1・2]、服部祐介[1]、大塚誠[1]
（[1]武蔵野大学、[2]武田薬品工業）

P-178　クロスポビドンを用いた乾式法による固体分散体生成に及ぼす水の影響
〇若林茜[1]、藤井まき子[2]、長澤寿輝[1]、上之ゆき乃[1]、小野真梨子[1]、小泉直也[1]、渡辺善照[1]
（[1]昭和薬大、[2]日本大・薬）

P-179　インドメタシンカプセルにおける添加剤の内容物に及ぼす影響
〇栗林和美[1]、阿部麻衣[1]、山本佳久[1]、鳥谷寧[2,3]、髙畠亨[2]、水野恵司[1]
（[1]帝京平成大・薬、[2]日本大・薬、[3]ウエルシア関東）

P-180　日本薬局方収載の回転バスケット法を用いた坐剤の溶出試験法の開発
〇瀬田昌子[1]，宮島沙弥[2]，山本佳久[3]，鈴木直人[2]，鈴木豊史[2]，伴野和夫[2]，井上元基[1]，
深水啓朗[1]（[1]明治薬大，[2] 日本大薬，[3] 帝京平成大薬）

P-181　出席管理システムの維持整備と充実化
〇木村 哲[1]、白幡 晶[1]、中村 和洋[2]、吉原 毅彦[2]、江口 和成[2]、松本正弘[2]、
佐藤 尚宏[2]　（[1]城西大・薬、[2]京葉システム㈱）

P-182　ピロール-イミダゾールポリアミドの測定法に関する研究
〇宮本 葵[1]、黒田 直也[1]、紺野 樹理[1]、青山 隆彦[1]、松本 宜明[1]　（[1]日本大・薬）

P-183　回復期リハビリテーション病棟において服用薬剤がリハビリテーションの
効果Functional Independence Measure (FIM)に与える影響
〇小瀬英司[1]、樋島学[2]、林宏行[1]　（[1]日本大・薬、[2]鶴巻温泉病院・薬剤科）

P-184　アシネトバクターのレボフロキサシン高度耐性獲得機構
〇小久保佳苗、三輪輝夏、中谷博晃、山岸純一（日本薬科大学薬学部薬学科）